

# 平成15年3月期 第3四半期業績概況

平成15年1月23日

上場会社名 **小松ウオール工業株式会社**

(コード番号: 7949 東証・大証第一部)

(URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>)

代表者役職名 代表取締役社長 氏名 加納 裕

問合せ先責任者役職名 取締役経理部長 氏名 鈴木 裕文 TEL(0761)21-3131

## 1. 四半期連結損益計算書等の作成等に係る事項

- 財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : (中間連結財務諸表規則)
- ・会計処理方法の変更の有無 : 無
  - ・中間決算等と異なる会計処理の有無 : 無
  - 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無
  - 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

## 2. 平成15年3月期第3四半期の業績概況 (平成14年4月1日 ~ 平成14年12月31日)

### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
15年3月期第3四半期	16,015(-)	1,411(-)	1,441(-)	769(-)
14年3月期第3四半期	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
(参考)14年3月期	22,960(4.6)	2,302(6.7)	2,385(4.1)	1,297(20.3)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
15年3月期第3四半期	70 60	-
14年3月期第3四半期	-	-
(参考)14年3月期	118 98	-

(注) 四半期業績の開示は、当期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。また、前年同四半期との比較についても行っておりません。

なお、「1株当たり当期純利益」につきましては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)を適用し計算しております。

### [ 経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期の国内経済は、政府の12月月例経済報告では「持ち直しに向けた動きが弱まっており、おおむね横ばい」と、基調判断が2カ月連続で下方修正されたように景気は底ばい状態に陥り、米国経済の減速や大幅な株安で景気の先行きに対する懸念が一段と強まっている状況であると考えられます。

間仕切業界におきましても、上場ゼネコンの破綻と過剰債務問題、販売価格競争の激化に加え、設備投資の減少傾向からオフィス需要も振わず、厳しい経営環境が続きました。

このような情勢のなかで、当社は積極的なコスト削減と設計指定活動による受注活動に加え、新規優良顧客の開拓を積極的に推進し受注獲得に取り組んでまいりました結果、当第3四半期までの累計はほぼ計画どおりの業績で推移しました。

品目別では、民間設備投資の減少、抑制による工場等生産施設の減少やオフィス需要の低迷により、可動間仕切、ロー間仕切は前年同期比、計画比ともに減少しました。近年伸長の著しい固定間仕切は、首都圏オフィスビル新築のビッグプロジェクト向けの納入に加え、病院、老人介護施設等の福祉・厚生施設向けも伸び、前年同期比、計画比ともに増加しました。移動間仕切は多目的教室等の学校や展示場向けに小型の移動間仕切が伸び、前年同期比、計画比ともに増加しましたが、トイレブースについてはオフィス需要、工場・生産施設向けが振わず、前年同期比、計画比ともに減少しました。

利益面につきましては、グループ丸となったコスト削減と固定間仕切の増産効果等から売上総利益率は販売価格競争が激しいなか計画を若干上回り、販売費及び一般管理費についてもほぼ予算どおりで推移しております。

これらの結果、当第3四半期までの累計は、売上高160億15百万円、営業利益14億11百万円、経常利益14億41百万円、当期純利益7億69百万円となりました。

## (2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
15年3月期第3四半期	23,986	20,684	86.2	1,897.14
14年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)14年3月期	24,055	20,256	84.2	1,857.84

(注)四半期業績の開示は、当期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。また、前年同四半期との比較についても行っておりません。

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
15年3月期第3四半期	321	683	300	5,808
14年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)14年3月期	2,549	320	288	5,103

(注)四半期業績の開示は、当期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。また、前年同四半期との比較についても行っておりません。

## [ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は69百万円減少、株主資本は4億27百万円増加し、株主資本比率は2.0%増加しました。

総資産減少の主なものは、現金及び預金の減少1億25百万円、受取手形及び売掛金の減少6億70百万円、棚卸資産の増加5億11百万円等による流動資産の減少3億3百万円と保険積立金の増加2億94百万円等による固定資産の増加2億34百万円であります。負債の部では買掛金の減少1億27百万円、未払法人税等の減少4億1百万円、賞与引当金の減少95百万円、前受金の増加1億10百万円等の流動負債の減少5億65百万円が主なものであります。

キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、3億21百万円増加しました。これは税金等調整前当期純利益13億83百万円、減価償却費2億29百万円、売上債権の減少額6億50百万円等による増加と棚卸資産の増加額5億11百万円、仕入債務の減少額1億27百万円、法人税等の支払額10億46百万円等の減少によるものであります。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入8億40百万円、固定資産の取得による支出1億60百万円等で6億83百万円増加しました。財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払等により3億円減少しました。これらにより現金及び現金同等物は7億4百万円増加し、当第3四半期末残高は58億8百万円となりました。

## (参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成14年4月1日～平成14年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
15年3月期第3四半期	15,267	1,232	1,341	723

	総資産	株主資本
15年3月期第3四半期	22,385	19,456

## 3. 平成15年3月期の連結業績予想(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
通 期	23,540	2,400	1,340	116.90

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、「1株当たり予想当期純利益」につきましては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)を適用し計算しております。また、従来の方法で計算した場合の「1株当たり予想当期純利益(通期)」は122円90銭となります。

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

今後の国内経済は、横ばい状態の「踊り場」から、イラク攻撃を視野に入れた米国の経済動向や国内の不良債権処理の進展度合いが景気の先行きを左右しかねず、先行き不透明な中で景気の底割れにも警戒が必要であると考えられます。間仕切業界においても、少子高齢化社会を背景とした、文教市場・福祉市場は引続き堅調に推移すると考えられるものの、建設業界の過剰債務問題、販売価格競争等、依然として厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況下、第4四半期は首都圏をはじめ全国各地での大型工事の完成が目白押しではありますが、依然として続くデフレ傾向と激化する販売価格競争の中にあつて、利益率は若干低下するものと考えられます。

通期の業績予想につきましては、上記利益率悪化要因を当社の特長である受注から設計、製造、施工、サービスまでの自社一貫システムを最大限に発揮して吸収するとともに、12月末現在の受注残高とを考慮し、売上高、利益ともに第3四半期までの累計がほぼ計画どおりに推移したことと併せ、通期予想は期初予想どおりとし、連結売上高は前期比2.5%増の235億40百万円、連結経常利益は前期比0.6%増の24億円、連結当期純利益は前期比3.3%増の13億40百万円を予想しております。

(参考2) 平成15年3月期の個別業績予想(平成14年4月1日 ~ 平成15年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金	
				期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通 期	22,500	2,150	1,200	14 00	28 00

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	当 第 3 四 半 期 (平成14年12月31日現在)		前 連 結 会 計 年 度 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
( 資 産 の 部 )	百万円	%	百万円	%
流 動 資 産				
1. 現金及び預金	5,808		5,933	
2. 受取手形及び売掛金	6,514		7,185	
3. 棚卸資産	3,031		2,519	
4. その他	237		266	
貸倒引当金	60		70	
流 動 資 産 合 計	15,531	64.7	15,835	65.8
固 定 資 産				
1. 有形固定資産				
(1)建物及び構築物	3,816		3,811	
(2)機械装置及び運搬具	1,925		1,964	
(3)土地	2,430		2,430	
(4)その他	687		714	
減価償却累計額	4,410		4,373	
有形固定資産合計	4,450	18.6	4,548	18.9
2. 無形固定資産	281	1.2	254	1.1
3. 投資その他の資産				
(1)投資有価証券	555		558	
(2)保険積立金	2,613		2,318	
(3)その他	899		861	
貸倒引当金	344		319	
投資その他の資産合計	3,724	15.5	3,418	14.2
固 定 資 産 合 計	8,455	35.3	8,220	34.2
資 産 合 計	23,986	100.0	24,055	100.0

(百万円未満切捨)

科目	期 別		前 連 結 会 計 年 度	
	当 第 3 四 半 期 (平成14年12月31日現在)		(平成14年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
( 負 債 の 部 )	百万円	%	百万円	%
流 動 負 債				
1. 買 掛 金	1,117		1,244	
2. 未 払 金	470		486	
3. 未 払 法 人 税 等	127		528	
4. 前 受 金	889		779	
5. 賞 与 引 当 金	262		358	
6. そ の 他	140		174	
流 動 負 債 合 計	3,006	12.6	3,571	14.9
固 定 負 債				
1. 退 職 給 付 引 当 金	288		220	
2. そ の 他	7		7	
固 定 負 債 合 計	295	1.2	227	0.9
負 債 合 計	3,302	13.8	3,799	15.8
( 資 本 の 部 )				
資 本 金	-	-	3,099	12.9
資 本 準 備 金	-	-	3,031	12.6
連 結 剰 余 金	-	-	14,110	58.6
その他有価証券評価差額金	-	-	14	0.1
自 己 株 式	-	-	0	0.0
資 本 合 計	-	-	20,256	84.2
資 本 金	3,099	12.9	-	-
資 本 剰 余 金	3,031	12.6	-	-
利 益 剰 余 金	14,514	60.5	-	-
その他有価証券評価差額金	38	0.2	-	-
自 己 株 式	0	0.0	-	-
資 本 合 計	20,684	86.2	-	-
負 債 及 び 資 本 合 計	23,986	100.0	24,055	100.0

## 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

科 目	当 第 3 四 半 期 〔自平成14年 4月 1日〕 〔至平成14年12月31日〕		前連結会計年度 〔自平成13年4月 1日〕 〔至平成14年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
	百万円	%	百万円	%
売 上 高	16,015	100.0	22,960	100.0
売 上 原 価	10,605	66.2	15,398	67.1
売 上 総 利 益	5,410	33.8	7,562	32.9
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,998	25.0	5,259	22.9
営 業 利 益	1,411	8.8	2,302	10.0
営 業 外 収 益	34	0.2	89	0.4
1. 受 取 利 息	5		6	
2. 受 取 配 当 金	4		5	
3. 受 取 保 険 金	3		4	
4. 連 結 調 整 勘 定 償 却 額	-		25	
5. そ の 他	21		46	
営 業 外 費 用	4	0.0	6	0.0
1. 売 上 割 引	4		6	
2. そ の 他	0		-	
経 常 利 益	1,441	9.0	2,385	10.4
特 別 利 益	0	0.0	0	0.0
特 別 損 失	58	0.4	80	0.4
1. 固 定 資 産 除 却 損	10		11	
2. 投 資 有 価 証 券 売 却 損	-		1	
3. 投 資 有 価 証 券 評 価 損	47		45	
4. ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	-		21	
5. そ の 他	-		0	
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	1,383	8.6	2,304	10.0
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	644	4.0	1,074	4.7
法 人 税 等 調 整 額	31	0.2	66	0.3
当 期 純 利 益	769	4.8	1,297	5.6

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

項 目	期 別	当 第 3 四 半 期 〔自平成14年 4月 1日 至平成14年12月31日〕	前連結会計年度 〔自平成13年4月 1日 至平成14年3月31日〕
	営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益		1,383	2,304
減価償却費		229	293
連結調整勘定償却額		-	25
貸倒引当金の増減額( :減少)		15	198
受取利息及び配当金		9	12
投資有価証券評価損		47	45
ゴルフ会員権評価損		-	21
売上債権の増減額( :増加)		650	1,190
棚卸資産の増減額( :増加)		511	515
仕入債務の増減額( :減少)		127	346
未払金の増減額( :減少)		23	42
前受金の増減額( :減少)		110	69
退職給付引当金の増減額( :減少)		67	27
役員賞与の支払額		65	60
その他(純額)		409	361
小 計		1,357	3,677
利息及び配当金の受取額		9	13
法人税等の支払額		1,046	1,141
営業活動によるキャッシュ・フロー		321	2,549
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出		-	1,876
定期預金の払戻による収入		840	2,570
有形固定資産の取得による支出		84	254
無形固定資産の取得による支出		76	111
投資有価証券の取得による支出		0	23
投資有価証券の売却による収入		0	16
その他(純額)		3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー		683	320
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得又は売却(純額)		0	0
配当金の支払額		299	288
財務活動によるキャッシュ・フロー		300	288
現金及び現金同等物に係る換算差額		-	-
現金及び現金同等物の増減額		704	2,581
現金及び現金同等物の期首残高		5,103	2,521
現金及び現金同等物の期末残高		5,808	5,103

## 品目別売上高明細書

(百万円未満切捨)

期 別 品 目	当 第 3 四 半 期 〔自平成14年 4月 1日 至平成14年12月31日〕	
	金 額	前 年 同 期 比
	百万円	%
可 動 間 仕 切	5,073	-
固 定 間 仕 切	4,056	-
移 動 間 仕 切	2,661	-
ト イ レ ブ ー ス	2,394	-
口 ー 間 仕 切	857	-
そ の 他	972	-
合 計	16,015	-

(注) 四半期業績の開示は当期より実施しておりますので、前年同四半期との比較は行っておりません。  
前期まで「その他」の品目に含めて表示しておりました壁面化粧パネルは、売上高が大きくなったため、当期より「固定間仕切」に含めて表示しております。なお、当第3四半期の「固定間仕切」に含まれている壁面化粧パネルの金額は、588百万円であります。

## 品目別受注高および受注残高

(百万円未満切捨)

期 別 品 目	当 第 3 四 半 期 〔自平成14年 4月 1日 至平成14年12月31日〕			
	受 注 高		受 注 残 高	
	金 額	前 年 同 期 比	金 額	前 年 同 期 比
	百万円	%	百万円	%
可 動 間 仕 切	5,317	-	2,325	-
固 定 間 仕 切	5,019	-	4,118	-
移 動 間 仕 切	2,546	-	2,096	-
ト イ レ ブ ー ス	2,739	-	1,425	-
口 ー 間 仕 切	834	-	99	-
そ の 他	890	-	317	-
合 計	17,346	-	10,382	-

(注) 四半期業績の開示は当期より実施しておりますので、前年同四半期との比較は行っておりません。  
前期まで「その他」の品目に含めて表示しておりました壁面化粧パネルは、売上高が大きくなったため、当期より「固定間仕切」に含めて表示しております。なお、当第3四半期の「固定間仕切」に含まれている壁面化粧パネルの金額は、受注高382百万円、受注残高464百万円であります。